



2021年9月3日

各位

会社名 クロスプラス株式会社
 代表者 代表取締役社長 山本 大寛
 (コード番号 3320 東証・名証第二部)
 問合せ先 常務取締役 西垣 正孝
 (TEL 052-532-2211)

2022年1月期第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2021年3月12日に公表いたしました2022年1月期第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想につきまして、下記のとおり修正をいたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年1月期第2四半期累計期間 連結業績予想数値の修正
(2021年2月1日～2021年7月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	29,500	600	700	550	75.00円
今回修正予想(B)	28,600	210	370	220	30.00円
増減額(B-A)	△900	△390	△330	△330	—
増減率(%)	△3.1	△65.0	△47.1	△60.0	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年1月期第2四半期)	25,904	△106	198	△66	△9.13円

2. 2022年1月期通期 連結業績予想数値の修正
(2021年2月1日～2022年1月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	62,000	2,200	2,450	2,050	279.55円
今回修正予想(B)	60,000	600	800	700	95.45円
増減額(B-A)	△2,000	△1,600	△1,650	△1,350	—
増減率(%)	△3.2	△72.7	△67.3	△65.9	—
(ご参考) 前期実績 (2021年1月期)	64,002	2,148	2,530	2,001	272.97円

3. 修正の理由

第2四半期累計期間の連結業績につきましては、売上高において、衣料品販売のアパレル卸売では、郊外型専門店や無店舗向けの販路を中心として回復基調となっている一方で、アパレル小売では、外部モールへのEC販売が伸長したものの、外出自粛による来店客数の減少を要因として百貨店や大型量販店の店頭販売の回復が遅れております。加えて

非衣料品販売では、ファッションマスクの販売が想定よりも進まず、期初予想に対して900百万円の減収要因となりました。

その結果、2021年3月12日の発表予想を900百万円下回る見込みとなりました。

以上により、上記の売上高の減少に伴って、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年からは増収増益となったものの、計画を下回る見込みとなりました。

通期の連結業績予想につきましては、売上高において、第2四半期累計期間の業績予想を反映するとともに度重なる緊急事態宣言の発出の影響や今後新型コロナウイルス感染症の影響が当期末まで及ぶものと想定する中で、本格的な消費動向の回復は見通しづらい状況となり、下期においてはニューノーマル商品の開発や、郊外型専門店向けの販売を強化する等の施策を行うものの、引き続きアパレル小売における店頭販売の落ち込みや非衣料品販売の減少が想定されるため、2021年3月12日の発表予想を2,000百万円下回る見込みとなりました。また利益面では、上記売上高の減少の他に、売上高構成比の影響で粗利益率が低下することなどを踏まえて、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益がそれぞれ計画を下回る見込みとなりました。

※上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績については、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上